

住み慣れた地域で暮らし続けられる社会の構築



動画視聴



公明党議員団
塩塚 敏郎 議員

少子高齢化・人口減少への対応

問 少子化の改善に不可欠である若者の働き方・雇用環境の改善に関する市長の認識は。

答 働き方改革や雇用環境の改善は、少子高齢化・人口減少への対応として重要な取組と認識している。

問 市内高校生の市内企業への就職状況と就職支援策は。

答 令和5年度の高校卒業者数1,140人に対し、就職者数は299人で、そのうち81人は市内企業に就職している。

また、就職支援として高校等の就職担当の先生を対象とした企業との懇談会や企業見学会、高校生を対象とした就職ガイダンス、企業紹介冊子の配布などに取り組んでいる。

再発言 就職指導体制の強化や学生と事業者のミスマッチの解消が必要。

また、若者定住支援や結婚支援、子育て支援等の一体的な取組などを求めたい。

給食費の無償化

問 給食費の無償化に対する

考えは。

答 国の支援がない場合、大きな財政負担が生じることになるため、実施は難しいと考える。

再発言 国の責任として、

国や県に財源を求めてほしい。

世界遺産登録10周年記念事業

問 令和7年に世界遺産登録から10周年を迎えるが、記念事業をどう考えているか。

答 これまで協力をいただいた地域や学校、ガイドの方などへ感謝の気持ちを示す機会を設けたい。また、三池炭鉱による発展の歴史の偉大さを感じられるものを企画したい。

再発言 10周年記念事業で本市の世界遺産が改めて注目されることを期待する。さらに、100周年へ向けて、保存と活用の取組をお願いしたい。



災害に強いまちづくり

問 本市周辺の活断層が動いた場合、最大震度6弱の地震が想定されるが、本市への影響は。

答 建物被害が全壊1,529棟、半壊1,407棟、人的被害としては死者87人、負傷者1,628人と想定されている。

問 災害時の共助が重要だが、共助の役割について聞きたい。

答 大規模災害時には公的機関も被災するため、迅速な支援は困難。被害を軽減するには日頃の備えや地域とのつながり、防災活動が重要。

問 熱中症対策の観点から避難所となる学校の体育館への空調設備設置の必要性は。

答 現在、特別教室への空調設備設置を進めており、体育館への設置は他都市の動向を注視したい。

再発言 空調設備設置の検討を改めてお願いする。

問 公共下水道白川排水区整備事業（第2期）の内容は。

答 健老町周辺地域の浸水緩和を目指し白川ポンプ場のポンプ増設や、雨水管渠整備を計画している。

再発言 地元への工事の連絡と協力を得ながら無事故で取り組んでほしい。

孫育て支援事業（祖父母手帳）

問 共働きやひとり親家庭も増加傾向にある中、子育てには祖父母も関わるが、祖父母世代への子育て支援の取組は。

答 子育ては親だけではなく、祖父母をはじめ周囲の温かいサポートが大切だと考える。

今後、祖父母手帳の配布やホームページ等による周知啓発を行う予定としている。